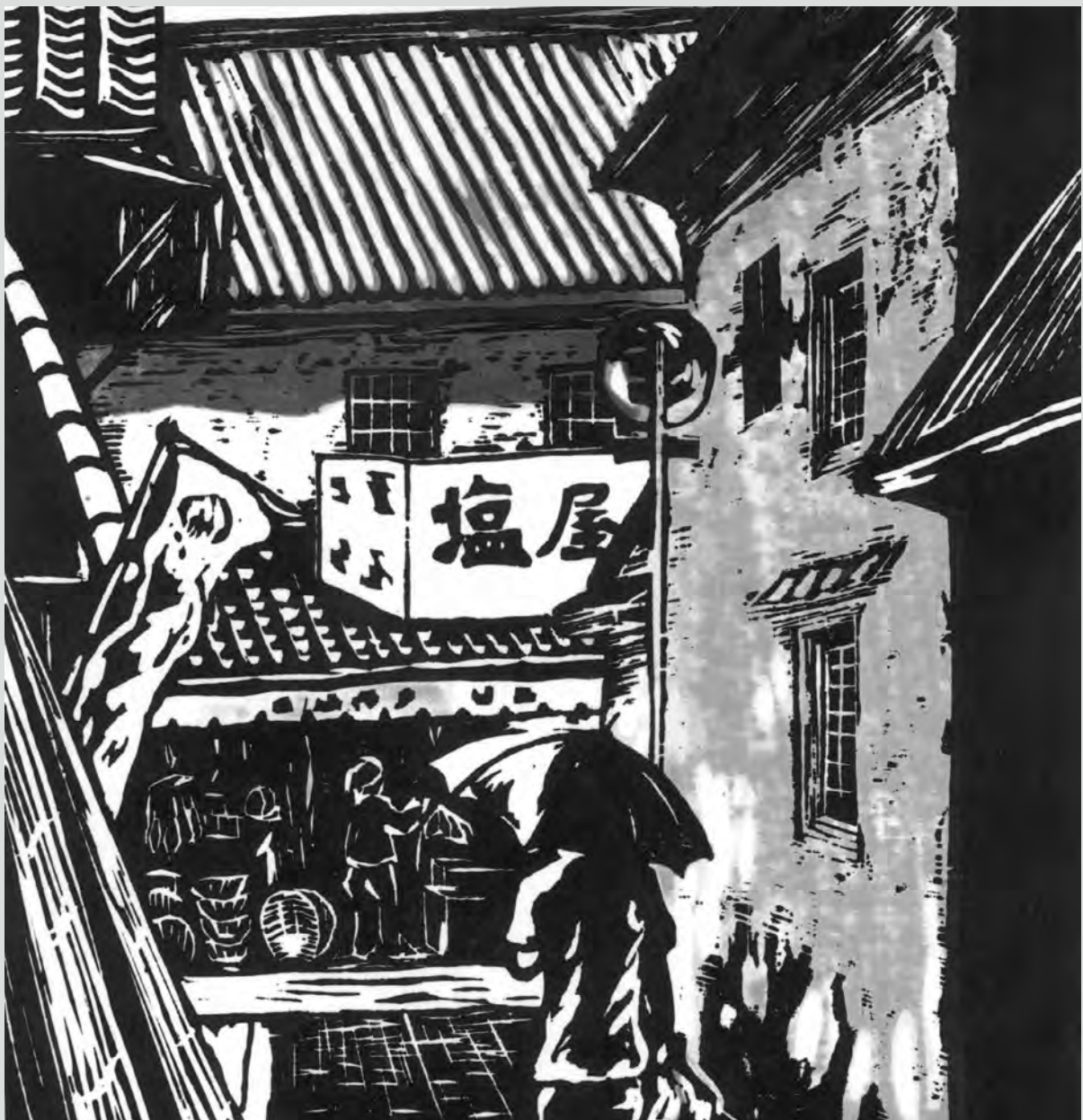


建築士

おおた

新年号



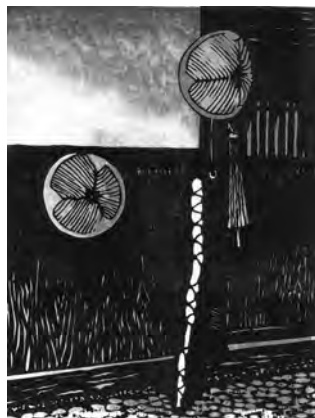
㊦ 社団法人 大分県建築士会

2009 No104

CONTENTS

1. 平成20年度 大分県建築士会専攻建築士制度申請及び更新について	
2. 大分県建築士会専攻建築士制度のご案内	CPD専攻建築士委員会 竹尾 憲和
7. 応急危険度判定士	事業委員会 渡邊 豊基
構造センターからのお知らせ	構造センター 許斐 正勝
8. 黄綬褒章 拝受/現代の名工	〈臼杵支部〉 足立 信治
9. 第50回建築士会全国大会の報告	〈佐賀関支部〉 都 隆也
10. 九州パッションの誘い	青年部会長 岐部 和久
11. 女性部会のPage 女性建築士住宅セミナーの報告	〈大分支部〉 長田 孝治
14. インフォメーション (支部便り)	
~臼杵支部~	赤嶺 竜一
~津久見支部~	大村 正壽
~三重支部~	岡部 達己
~中津支部~	山村 増治
18. 会員紹介	〈中津支部〉〈高田支部〉〈別府支部〉〈津久見支部〉
20. MY WORK	〈別府支部〉〈臼杵支部〉〈日田支部〉
22. シリーズ 登録文化財 No25 石橋の町 院内町	〈宇佐支部〉
23. ちよつとききみみタイム	
24. おおいた建物発掘隊 一佐伯編一	〈佐伯支部〉 長田 孝治
26. 行政だより	事務局
27. 地区計画整備区域	事務局
28. 事務局だより	事務局

表紙と目次頁の版画の作者は、竹田支部相談役の川野和男さんです。
川野さんは、建築士としての活動と並行して太平洋美術会の会員を始め多団体の美術・版画会員としてご活躍中です。県内に題材をモチーフとした版画をお楽しみください。



大分県建築士会専攻建築士制度のご案内

社会や消費者に向けて良好な建築環境を提供する義務のある建築士は、現在様々な分野で活躍し、その業務も多様に専門分化しています。

専攻建築士制度への本会の取り組みから5年が経過しようとしており、すでに専攻建築士の登録は全国で1万人を突破しました、また今回は更新対象者が出てくる年でもあります。

ここ近年我々建築士を取り巻く環境は、業務の専門分野化、めまぐるしい法改正、社会や消費者の建築士への関心の高まりと急速に変化しております、そういった時代の現実を真摯に受け止め自らの責任を果たす専門業務領域とその能力を社会や消費者に明示する制度の専攻建築士への登録及び更新申請をお願いします。

平成20年12月 社団法人 大分県建築士会

1 8つの専攻領域

専攻建築士の名称・区分は右の8領域とし、実務実績により複数(2領域まで)取得することができます。あわせて、専門分野(得意分野)を表示することができます。

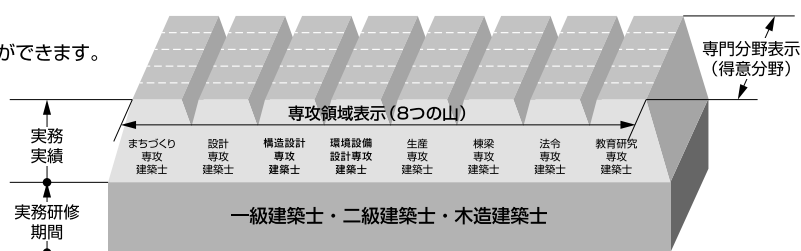


図3 専攻建築士8つの山

名称	代表的な実務と基礎要件
1 まちづくり専攻建築士	①都市デザイン、都市計画に係わる業務 開発事業、区間整理・再開発等の具体的プロジェクトまたは、都市・まちづくりの企画、調査等のコンサルタントに関わる業務 ②地域の住民やNPO団体等による景観保存、まちおこし運動、地域貢献活動等に対する専門家としての幅広い支援活動
2 設計専攻建築士	建築士免許を必要とする建築の設計及び工事監理等に係わる業務。一般に、建築設計事務所、建設会社の設計部門等で「建築設計者」「技術スタッフ」等として従事している者。その他、官庁・地方自治体・公共団体や民間企業で、設計・工事監理等に従事している者も含む。「APEC アーキテクト」は申請に基づき認定される。
3 構造設計専攻建築士	建築士免許を必要とする建築の構造設計及びその工事監理等に係わる業務。「1級建築士」を対象とする。JSCAの「建築構造士」「APECエンジニア(構造)」は、申請に基づき認定される。
4 環境設備設計専攻建築士	建築士免許を必要とする建築の設備設計及びその工事監理等に係わる業務。「1級建築士」又は「建築設備士」資格を持つ「2級・木造建築士」を対象とする。(実務経歴年数5年は、いずれか早い資格取得から算定する)建築士免許を持つ「JABMEEシニア」は、申請に基づき認定される。
5 生産専攻建築士	建築施工関連分野(現場の施工管理、積算、CM、建築リニューアル・維持管理等)に係わる業務。1級の「施工管理技士」資格を持つ建築士の実務経歴年数は、いずれか早い資格取得から算定する。②に示す業務に係わる者は、専門分野表示をしなければならない。建築士免許を持つ「積算資格者」で、日本建築積算協会の会員は、申請に基づき「積算」*1に認定される。ストック関連団体*2の資格を持つ建築士は、建築士会に入会することで、申請に基づき「診断・改修」に認定される。
6 棟梁専攻建築士	①日本の伝統木造技術を継承し、その技術のもとに伝統建築(社寺建築、数奇屋等)の建築生産全体を統括しつつ、設計・工事監理及び施工(木工技能)を行なう業務 ②日本の伝統木造技術の基礎となる規矩術や木組みの架講技術を修得し、その技術を現代建築に活かし、木造住宅をはじめ、学校や福祉施設等の設計・工事監理、及び施工(木工技能)を行なう業務 以上①又は②の業務を行い、且つ後進の指導にあたる立場の者。
7 法令専攻建築士	次の実績を持つ1級建築士。法令の策定、建築確認、住宅性能評価等に係わる業務。裁判所、行政機関、建築士会等に対する技術的・法的立場からの支援業務又は活動。(裁判所支援:民事調停委員、民事鑑定委員、民事鑑定人、行政支援:建築工事紛争委員会委員、建築士審査会、建築審査会、建築士会の建物相談(法令に関する)等)の実績。」「建築基準適合判定資格者」は申請に基づき認定される。
8 教育・研究専攻建築士	教育機関(工業高校、高等専門学校、専門学校、大学等)において、建築に関する教育、訓練等の業務又は、研究・調査・開発機関(大学を含む)及び企業の研究開発部門等で、特定の専門分野の研究開発等の業務。「建築士」免許資格者を対象とする。

2 専門分野表示

専門分野表示は、消費者から見て「表示があった方が分かりやすい」という視点から設けることを原則としています。専門分野表示は、業務内容を狭める側面もあり全ての方が専門分野表示をする必要はありませんが、環境設備設計専攻領域については該当業務の専門分野表示は必ず表示しなければいけません。

生産専攻領域については業務が次のいずれかに該当する場合は必ず表示しなければいけません。

・建築施工管理 ・設備施工管理 ・積算 ・診断 ・改修 ・工事監理

専門分野表示は「得意分野」を表示するもので、審査は1分野3件以上の実績で審査します。専門分野表示の数は、1専攻領域当たり3件までとします。

表2は2008年9月まで認められたもので、表以外の専門分野表示は申請者から出てきた事例を認定評議会で審議して決定し再整理します。

表2 専門分野表示の例示(2007年度)

まちづくり	設計	構造設計	環境設備設計	生産	棟梁	法令	教育研究
都市デザイン 景観計画 都市計画 再開発 区画整理 ユニバーサルデザイン 防災まちづくり まちづくりコーディネーター まちづくりアドバイザー 街並保存・修景 まちづくり行政	戸建住宅/集合住宅/医療施設 福祉施設/教育施設/生産施設 商業施設/業務施設/文化施設 宗教施設/鉄道施設/宿泊施設 スポーツ施設/漁業関連施設/農業関連施設 社寺建築/数寄屋造/物流施設 伝統建築保護修復/ランドスケープ ファンリテイマネージメント(FM) プロジェクトマネージメント(PM) コンストラクションマネージメント(CM) リフォーム/積算/診断/改修	耐震診断・補強	省エネルギー 情報システム 空調設備 給排水設備 電気設備	戸建住宅 集合住宅 維持管理 リフォーム 鉄骨製作図 鑑定書等作成 確認申請代行 コンストラクションマネージメント(CM) ネージメント(CM) 建築施工管理 設備施工管理 積算 診断 改修 工事監理	伝統型木造住宅 社寺仏閣建築 茅葺合掌造改修 数寄屋造 古民家診断・ 改修・再生等	建築確認・検査 性能評価 保証検査 紛争調停 特定行政庁等業務 建築相談 鑑定書等作成	設計 構造 環境設備 材料・施工 福祉工学 建築計画 都市計画 建築史

3 申請対象者と専攻種別(制度開始3年年間の経過措置: 6 参照)

申請対象となる建築士:

大分県建築士会の会員で、建築士免許取得後、表3に示す専攻領域別必要実務経歴年数と責任ある立場での実務実績が3件以上あり、かつ()内のCPD履修単位登録を行った者。

表3 領域別申請要件一覧

専攻領域	対象建築士資格等	必要実務経歴年数	実務実績件数	必要CPD単位 ^{※1}	実務経歴・実績に代えることのできる協定団体等の資格
まちづくり	建築士	5年	3件以上	250単位	—
設計	建築士	5年	3件以上	250単位	・「APECアーキテクト」
構造設計	1級建築士	5年	3件以上	250単位	・「APECエンジニア(構造)」 ・日本建築構造技術者協会「建築構造士」
環境設備設計	1級建築士	5年	3件以上	250単位	・建築設備技術者協会「JABMEE シニア」
	2級・木造建築設備士				
生産	1級建築士	3年	3件以上	150	・日本建築積算協会「建築積算資格者」※7 ・ストック3団体「5資格」※7
	2級・木造建築士	6年		250単位	
棟梁	1級建築士	5年	3件以上	250単位	・日本伝統建築技術保存会「正会員」 ・「日本伝統建築技能者」
	2級・木造建築士	8年			
法令	1級建築士※5	3年	3件以上	150単位	・「建築基準適合判定資格者」
教育研究※6	建築士	5年	3件以上	250単位	—

※1 制度導入時の経過措置期間は除く。

※2 実務経歴年数は「建築士」か「建築設備士」のどちらか早い取得からカウントできる。

※3 実務経歴年数は「建築士」か「一級建築施工管理技士」「一級電気工事施工管理技士」「一級管工事施工管理技士」いずれか早い取得からカウントできる。

※4 実務経歴年数は「建築士」か「一級建築施工管理技士」のどちらか早い取得からカウントできる。

※5 2級・木造建築士の場合、建築基準適合判定資格者に限る。

※6 既に「まちづくり」「生産」で登録された教育研究者は、現登録期間は有効。希望者は更新前に「変更申請」を行うことができる。

※7 協定団体等の資格保有の場合でも、建築士免許取得後の期間は各々の領域で要求される領域別年数を必要とする。

*一部の建築士会では、連合会と専攻建築士制度について、「協定を締結した団体」の会員も申請することができる。

*諸々の理由で「建築士試験」の合格に時間が掛かった人達への配慮として、実務経歴年数の緩和規程を設けている。<建築士免許取得からの実務経歴年数が15年以下の者で、建築士受験資格の法定年数を超えた実務経歴を持つ者は、2年まで「専攻建築士の対象実務経歴年数」に加えることができる>

4 専攻建築士の審査基準

専攻建築士になるための要件は、

- ①「CPDを実施すること」
- ②「建築士資格取得後の専攻領域の実務経歴年数が表3の年数以上あること」
- ③「当該領域の責任ある立場での実務実績」が3件以上あること。

以上の3要件を満たす建築士を、大分県建築士会に設ける「専攻建築士審査評議会」で審査し、連合会の「専攻建築士認定評議会」で承認することで「専攻建築士」として認定・登録されます。

※ 建築士免許取得後30年を超える建築士で過去20年間の実務実績3件以上かつ特別認定講習受講または研修型CPDが40単位以上の方は特例があります。

「責任ある立場での実務実績」

- a. 比較的小規模の業務について、企画、計画・設計・監理、調整、施工管理などの大半を行なった実績。
- b. 比較的大きな業務の一部を担当して業務全体を理解した上で関連部署との調整やチームの指導等を行なった実績。
- c. 複雑な条件下の業務、新しい考え方が求められる業務あるいは複数の領域にまたがる業務を主導的又はそれらを総括する立場で行なった実績。

5 登録更新制度

「専攻建築士制度」は、5年毎の登録更新制度を設けます。

登録更新の要件として、実務の確認（専攻領域、限定表示：責任ある立場での実務実績3件以上、専門分野表示：実務経歴での実績3件以上）、CPD単位の確認（領域に係わらず5年間で250単位以上が必要となります）。

本会のCPD制度は、他の団体のCPDと異なり、「実務経歴」をCPDの中に加えるので、「CPD」を毎年データ登録をすれば、更新手続きは簡素化されます。

6 社会への表示

専攻建築士に認定・登録されると、「登録証」、「カード」、「バッジ」の3点が交付されます。認定登録された専攻建築士は、「CPD参加登録者」と共に、建築士会に設ける「閲覧簿」で公開されます。閲覧簿は、毎年更新され「CPD」のデータ登録状況も更新されますので、年に1度のCPDデータの登録をすることを勧めます。

一部の建築士会では、ホームページで専攻建築士が検索できる仕組みを用意しています。

また、消費者の要請により、正当な理由のある場合は、申請時の資料を開示する場合があります。その他、公共発注の経歴書の一部や転職の際のポートフォリオとしても活用できます。



図5 「登録証」、「カード」、「バッジ」

■ ホームページで専攻建築士を検索

全国の専攻建築士を都道府県毎にWeb検索ができます。(http://www.kenchiku-cpd.jp/senkou/search/search_0.htm)

「専攻建築士を探そう」
各県の建築士会にリンクします

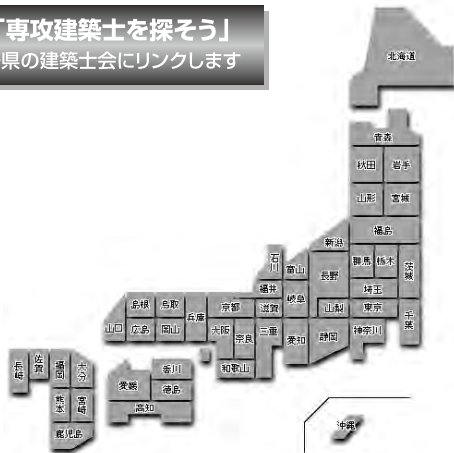


図6 Web検索のイメージ図

7 継続能力開発(CPD)制度

消費者保護が問われる今、まじめに努力をしている建築士を建築士会が応援します！

CPD制度は、建築士会が建築士の実務と研修の実績を記録・証明し、社会に示す制度です。
建築士の能力開発を「実務による能力開発」と「研修による能力開発」の2つで構成しています。

■ 証明書を発行します

CPD参加者には、能力開発の記録用の「CPD手帳」が交付されます。この手帳を建築士会へ提出し、データ登録をすることで、あなたの行った能力開発の証明書を建築士会が発行いたします。

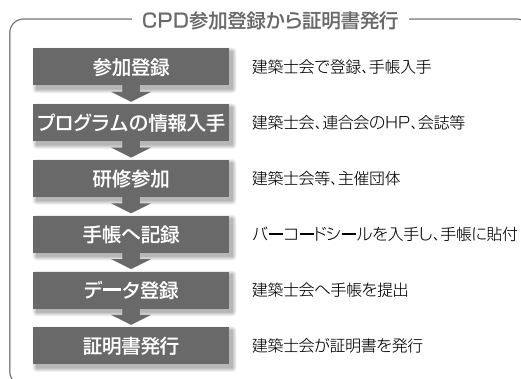
■ CPDで仕事を獲得

ある県の設計事務所では、民間中堅企業の10数件の店舗増設に伴う設計・工事監理の指名入札に「CPD実績証明書」を活用し、競合他社に差をつけることで見事に指名を獲得した例もあります。

また、一部の行政でも指名入札にCPDを加点することを決定しています。

■ ホームページでお名前を公開いたします

データ登録を行った方へは、証明書を発行するほか、日本建築士会連合会の会誌「建築士」（発行部数毎月12万部）にお名前を公表し、ホームページでも「真面目に研鑽に取り組んでいる建築士」として公開しております。



CPD参加登録に係る費用

- ①手帳代500円(1冊)
- ②初期登録費500円(初回のみ)
- ③CPDデータ登録費2,000円(1年分)

8 専攻建築士の社会的メリット

この制度は、消費者保護を目的に始まった制度ですので、先ず、自ら専攻建築士を仕事に活用して頂きたいと考えています。専攻建築士は座してメリットを待つだけでなく、積極的に仕事に活用し、社会・消費者から信頼を得られる様に広めていきましょう。また、本制度を活用して成功した事例を建築士会に寄せて下さい。

■ 社会・市民にとって:

建築士のより詳細な情報が開示されることにより、建築士の仕事、その役割や責任は何か、多様な専門家の位置づけも明確になり、建築全体への社会の理解が深まり、建築士への信頼も高まります。又、「専攻建築士」の顕在化は、「一定レベルの能力と、実績のない建築士」との区別・淘汰が始まり、「良貨が悪貨を駆逐する」ことに繋がります。その結果、欠陥建築の遞減を図ることができます。

■ 発注者にとって:

努力・研鑽し、仕事のできる建築士＝「専攻建築士」が明確になり、発注者は「優良な建築士」を選択しやすくなります。設計や工事の発注等で、人の質の確保を図ることができ、結果「建築の質」を担保することになります。又、多様な専門家の役割と責任が明確になるので、発注者が望む目的に適した専門家を選択することで、発注時の誤解やミスマッチを防止することができます。

■ 雇用者にとって:

「質の高い建築士」を雇用し、社員の技術レベルの維持向上を図ることは、企業の事業成果を高めると共に「人材育成の取組姿勢」が社会から評価されることとなります。仕事を受ける際の業務体制表等で「CPDの研修記録」や「各領域の専攻建築士」を表示する積極的な情報開示は、顧客からの信頼性が高まります。

■ 建築士にとって:

役割と責任を明示することは、建築士業務への発注者の理解が深まり、無用な衝突や論争を避けることができます。第三者による「CPD」や「実務実績」の証明により、信頼を得やすくなり、自らを有利に売り込むことができます。「CPD」の記録と登録により、研修や仕事の履歴が蓄積され能力開発の目安も得ることができ、かつPRのためのポートフォリオの作成も可能です。結果として、「信頼のおける建築士」として、活用される機会が増えます。

表4 専攻建築士のメリット

市民のメリット	発注者のメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・欠陥防止 ・建築士の信頼性確保 ・優良建築士の顕在化 ・建築士への理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・発注トラブルの予防 ・建築の質の確保 ・適切な専門家の選択 ・客観的な技術力評価
雇用者のメリット	建築士のメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・自社営業PRに活用 ・顧客の信頼性が増す ・事業の質を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事のチャンスが増加 ・受注時の有利な扱い ・仕事のリスク軽減 ・自己研鑽の目標と成果の証明

連携と自立（他団体との連携状況）

建築士会連合会は、「自立と連携」のキーワードの下、まちづくり、法令を除く5つの専攻領域に関連する9団体と協議を重ね、合意協定、確認書を締結しました。図3は各専攻領域と団体資格との関係を示したものです。近く、合意協定を締結した団体との連絡協議会（仮称）を設置し、本制度の社会的定着を推進します。

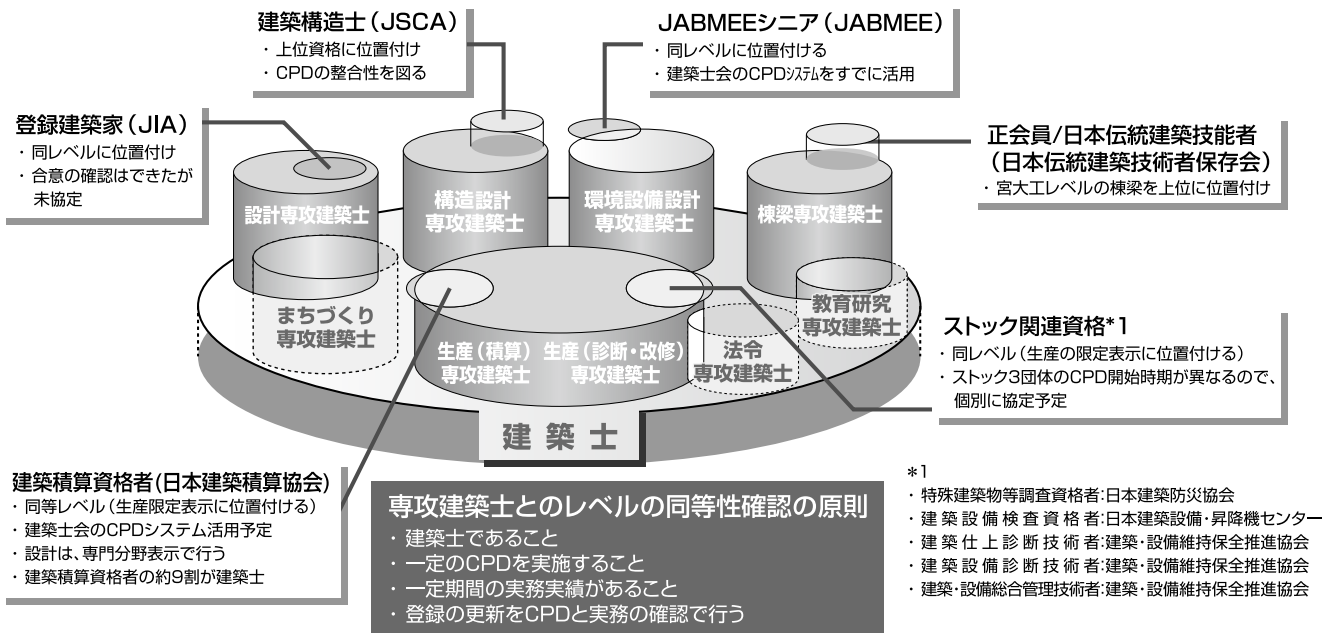
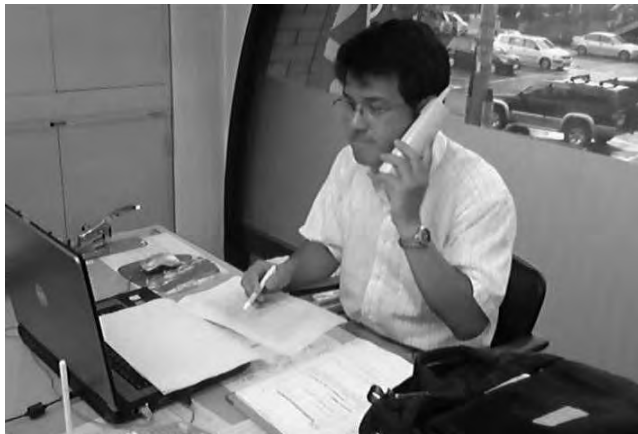


図7 合意協定をした団体資格との位置づけ

平成20年度 地震被災建築物応急危険度 判定連絡訓練の参加報告

事業委員会 渡邊豊基



本会では平成19年6月に、建築士会が社会活動を支援する責務として青年部会を中心に応急危険度判定士先遣隊を34名にて組織しました。また同年の九州ブロック研究集会「大分大会」にて、応急危険度判定活動の重要性や組織拡充の提案等、広域圏での判定活動の必要性を訴えました。

その後大分県防災推進協議会の開催する、応急危険度判定士講習会を共催し、士会員の実地体験発表やアンケートを募り、実際の活動に対する意向調査等を行って参りました。

今回の連絡訓練では、先遣隊会員に対してメールにより、仮想地震情報の提供と併せて支援回答を求めましたが、パソコンアドレスへの提供であったことから、即座の回答を得ることができず、急遽携帯電話に切り替え34名中8名の参加支援を報告することができました。

反省点としては、情報提供は即座に対応出来るよう携帯メールへの発信も必要であることから携帯電話専用のメーリングリスト構築の必要性を感じております。

全国的な連絡訓練に参加することにより、建築士会先遣隊の連絡網の確実性や会員の意識及び模擬活動派遣に対する日程調整等について検証する機会が与えられたことに感謝いたします。今後とも有事に備えた訓練や7つ道具の整理に努める所存です。

さる、11月18日（火）コンパルホール
3階会議室において
「構造設計者を対象とした講習会」を開催しました。

当日は、井上正文副会長の挨拶に続き、建築構造技術センターの佐藤典美 技術審査部長が「構造計算適合性判定の審査に関連して」と題して講演しました。

昨年の建築基準法改正以後の構造計算書適合性判定の状況、特に指摘事項の多い項目の解説と、現行の一貫構造計算プログラムに関する要注意事項等を内容とする講演をおこないました。

続いて、「鉄筋コンクリート構造における構造設計の基礎」と題して九州大学大学院教授 崎野健治氏から、鉄筋コンクリート構造のもつ特性をどのように生かして、具体的な設計に取り込むのかを、防災科学技術研究所の実大実験の破壊結果をもとに講演していただきました。

参加人員は50名でした。

(建築構造技術センター特別委員会)



2008.11



足立 信治

昭和30年1月25日生（53歳）

有限会社足立建築事務所 代表取締役 1級建築士
白杵匠の会事務局長・白杵伝統建築研究会幹事・
特定非営利活動法人白杵伝統建築研究会理事



社会の様々な分野で活躍し、優れた功績を残した人をたたえる春の褒章
その道ひと筋に打ち込み、他の模範となった人を対象に贈られる黄綬褒章に
大分県建築士会白杵支部会員 足立信治氏が受賞した。

17歳で東京の工務店に就職、著名人の住宅建築などにかかわり、基礎を学んだ。

23歳のころ、実家の建築事務所戻り、設計、施工の経験を重ね、2001年には、県産材の丸太を骨組みにした“スケルトンログハウスOITA”を東京芸大と共同開発、「道の駅あさじ」や、白杵魚市場「豊後水道新鮮海市」を手がけた。

「今回の受賞は、今までに得た知識や技術を受け継ぐことに力を注げという励ましとうけとめたい。日々前進、これでいいと思わずに、もう少し良く、さらに上を」と話し、さらなる研さんを語ってくれました。18年度には「現代の名工」として厚生労働大臣表彰（卓越した技能者）を受賞している。



黄綬褒章（おうじゅほうしょう）

黄綬「業務に精励し衆民の模範たるべき者」に授与される。

1887年、黄綬褒章臨時制定ノ件（明治20年勅令第16号）により、「私財ヲ献納シ防海ノ事業ヲ賛成スルモノニ授与スル」と定められた。このときの受章第1号は、中井新右衛門。

1955年の栄典制度改正により、授与する理由をあらためて、再度制定。同年、多年にわたり水稻農作技術の向上に努力した北海道の天崎正太郎が、新たな受章第1号である。2003年の栄典制度改正では、「第一線で業務に精励している者で、他の模範となるような技術や事績を有する者を対象とし、受章者数の増加を図る」こととされた。

全国大会の報告

佐賀関支部：都 隆也



10月25日、私たち佐賀関支部（支部長以下7名）は、第51回建築士会全国大会「とくしま大会」へ視察研修を目的に、国道九四フェリーの朝7時の便に乗船し、意気揚々とビールを片手に出発しました。

さて、三崎港を降り約5時間のドライブを経て、会場である「アステいとくしま」へ。受付を済ませ「腹が減っては研修は出来ぬ」という事で、会館外にある物産品販売プラザで昼食を済ませたのち、私と渡辺はセッション会場へと移動しました。



私達は、兵庫士会のEディフェンス実験の活動、静岡士会の景観整備機構の活動、大阪士会のシックハウス対策の活動等を見た後、会場内のいろいろなブースを周りながら、他県建築士の方々と意見交換をしながら、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。一方その頃……他の5人は遊覧船に乗り、徳島県の歴史と伝統を学ぶため「阿波踊り会館」で阿波踊りを学んだそうです…

さて大会終了後、徳島での宿泊が予約で一杯の為、一路、香川県の高松市内の宿へ。車内では阿波踊りの談義等で大変盛り上がりました。

そしてホテルに着き、温泉で汗を流した後、ここからが本領発揮！という事で、香川県の歴史と文化を学ぶため、夜の高松市へと消えて行きました。

二日日。昨晚の熱気（酔い？）冷めやらぬまま、一同意気揚々とビールを片手に建物視察へ。



（善通寺）

まずは、弘法大師の御誕生所である善通寺へ。創建1200年という年月の重みと、大工の技術力建物の完成度に圧倒され、興奮を抑えきれないまま善通寺を後にし、次の目的地である金刀比羅宮へ。



（御本宮）

（奥宮）

関アジ・関サバが有名な佐賀関にとって、海の神である金刀比羅宮とは切っても切れない関係。私達も佐賀関に携る者として、御本宮に参拝しました。

熱気で歳を忘れたのか、お酒で歳を忘れたのかは分かりませんが、フラつく足で汗だくになりながら約1時間かけ、1368段の階段を上り、頂上にある金刀比羅本教祖を祭る、巖魂神社（奥宮）に参拝し、金刀比羅宮を後にしました。



（道後温泉本館）

最後は、疲れた体を癒すため愛媛県の道後温泉へ。汗とお酒を温泉で洗い流し、心身共にリフレッシュした一同は、またまたビールとじゃこ天を両手に三崎港よりフェリーに乗船し、佐賀関に帰り着きました。

最後までお酒と笑いが絶えず、そしてとても学ぶ事の多い、実り多き全国大会でした。

九州パッションへの誘い

～長崎大会～

青年部会長 岐部和久

皆さんこんにちは。今年度より大分県建築士会青年部会長をしております岐部和久と申します。今後共よろしくお願ひいたします。

今回は、九州パッションへの誘いとして来年2月7日（土）に長崎市にて開催される「平成20年度九州パッションinながさき」をご紹介します。

既に参加された方は、パッションの魅力をご存知とは思いますが、ここで再度ご説明いたします。

九州パッションとは・・・

九州・沖縄8県持回りで毎年1回、2月付近に「九州はひとつ」を合言葉として開催し、大会開催県の建築文化や歴史・まちなみに触れる事と、一般市民との交流や建築士会活動の広報的役割を目的として開催しています。この九州パッションは、大分で毎年開催している「サマーセミナー」が原型で、大分から九州全体に波及していった大分県建築士会が全国に誇れる大会です。

今回は九州パッションinながさき

今回は長崎市で「平成20年度九州パッションinながさき」として開催されます。今回の大会テーマは『ちゃんぽん文化の再興』～歴史的資産を活かしたまちづくりと建築士のかかわり～となっています。

開催趣旨と建築士としてのかかわり

長崎は1570年（元亀元年）に開港して以来、中国・西欧諸国の様々な文化を取り入れ、洋館群・教会建築・唐人屋敷跡、そして近年復元された長崎奉行所と数多くの史跡・観光名所が混在するちゃんぽん（和華欄）文化の町です。ただ、現在の長崎市の街全体を見ると、それぞれの文化が個別の観光名所として存在しているだけで、長崎のよさ（ちゃんぽん文化の町）が活かされていない点があります。

今回は、個々の文化と混在する文化とを学ぶことによって、街の知られざる魅力を発見することで、長崎のよさ（ちゃんぽん文化の町）を再興する事に、建築士としてどのように関わっていくかを考えていきます。

各分科会のご紹介

●第1分科会

「世界遺産・長崎の教会群とキリスト教関連遺産」
～世界遺産と建築士のかかわりについて～

長崎総合科学大学の学長 林 一馬先生による長崎の教会群とキリスト関連遺産についての講演とパネルディスカッション、世界遺産とは、建築士はどのようにかかわっていけば良いのか参加者全員で考える場となっています。

●第2分科会

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の見学
～ド・ロ神父の奇跡と功績を訪ねて～

ド・ロ神父の建築した教会や町並みを散策し、神父の残した足跡や偉業などを見学します。建築士として、文化財保護や生活環境の変化への対応などの諸問題に関していけるかを体感し、今後の活動につながる学びの場となっています。

●第3分科会

華やかな長崎の歴史を体感
～長崎歴史文化博物館をたずねて～

2005年11月に開館した長崎歴史文化博物館へ移動し、歴史文化展示ゾーンや長崎奉行所ゾーンなどの館内見学及び白州観劇をします。また、その周辺にある江戸時代初期の貴重な教会遺跡、サント・ドミンゴ教会跡などを散策見学する中で長崎の歴史を感じていただける場となっています。

●第4分科会

「長崎における唐人屋敷と中国文化」
～クイズウォークラリー～

ランタンフェスティバル期間中の賑やかな唐人屋敷跡を散策し、当時の状況を思いながら中国文化と長崎のかかわりについて、各県対抗クイズウォークラリーによって学びます。

詳しくは各支部事務局に参加要綱を送付して
いますのでお問い合わせください。

最後に・・・

大会終了後は懇親会が開催されます。九州各県より集まった建築士同士。楽しいひと時を過ごしましょう。今回、長崎はランタンフェスタの真っ最中ですが、観光で観る長崎のまちなみとは違う、自分だけの長崎を体験できるものと思います。

女性部会の Page

平成20年度 第1回女性建築士住宅セミナー報告

開催日時 平成20年9月20日(土) 13:00~16:00

テーマ 木の家づくりと子育て

内容 講演会

(講師) 高橋 陽子 さん

ワークショップ

(発表者) 野田 さん・財満 さん

主催 大分県農林水産部林産振興室

(社)大分県建築士会女性部

大分支部 高山 鮎美

9月20日、大分文化会館 第一小ホールにて、『平成20年度 第1回女性建築士住宅セミナー』が開催されました。

今回は、元地元民放キャスター・記者を経て、現在フリーで食や農の取材を手掛けておられる高橋陽子さんによる講演会と、すでに県産材を使用した木の家に住まわれている、野田さん、財満さんをお招きしてのワークショップの2本立てで行われました。

まず、大分県建築士会女性部部長の阿南春美さんより『開会の挨拶』です。



次に、大分県農林水産部林産振興室の佐藤朗さんより『主催者挨拶』です。佐藤さんは、「実際の家づくりは、男性主体ではなく女性目線であることが必要です」と切り出され、大分の県産材使用の現状については、「県外に出て行くことが多いので、せっかくなら県内で使用して欲しい」と胸の内をお話されました。



いよいよ、高橋陽子さんによる『講演会』です。



まず初めに、高橋さんが携われているお仕事についてお話し頂きました。最近の大きな仕事は、『大分の食便り～大地と食卓をつなぐ生産者たちのメッセージ～』という本制作の為の取材と、『みどりもりもりキャンペーン』という番組の為の取材だそうです。

『大分の食便り』は、生産者のメッセージや思い入れを中心に書かれた本で、消費者として生活している中では知ることのできない、生産者側の思いを知ることができる、今までにないものになっているそうです。その本に掲載されているものの例として、中津江市ノ瀬あじさい会で生産されている『わさびの葉寿司』や、玖珠・九重で生産されている『ひこばえ米』についてお話し頂いたのですが、普通なら捨ててしまうものの

活用や、一人よがりではない、周りの環境までを考えた取り組みがされていたり、『生産』ということについての奥深さを感じました。地元の人に地元の素材を知って欲しい思い、外ばかりを意識せず地元を大切に思う気持ちが、ひしひしと伝わってきました。それは、県産材の生産や県内での消費を推奨する思いとつながるものがあると感じました。

『みどりもりもりキャンペーン』についてのお話では、みどりや景観、様々な環境を守っていくには、それなりの工夫や努力が必要なのだと感じました。特に『森づくりの関わり方』のお話では、植樹や清掃活動をすることで森づくりを支えるのはもちろん、何かを買うこと・食べることに、更には家を建てることに森づくりを支えることになるというお話は、印象的でした。

これらの、お仕事のお話からも窺えるように、高橋さんの心に響くキーワードには『自然』『地元』『農林漁業』『健康』等があるとのことで、また、現在1歳9ヶ月になる子供さんがいらっしゃるとのことから、今回のテーマである『木の家づくりと子育て』への関心を持たれたとのことでした。

しかし、実際に自分たちが住む家となると、理想と現実には裏腹で、高橋さんは現在、大手メーカーの家にお住まいなのですが、家を建てる際、家族との家に対する思いの温度差があったり、住宅展示場以外の窓口が分かりにくく、営業の方のお勧めのままに自分なりに考える時間がなかったり、大工さんや工務店さんより大手が安心なのではないかという思い等、様々な要因があって、自分の思い入れを大切に建ててみたい思いが負けてしまう結果になったと後悔されていました。

また、家づくりと子育てに関してのお話では、家を建てて一年後に出産されたそうで、「子供が成長するにつれて、ここがこうなっていれば、もっと子育てしやすかった・・・」という点が多々あるとのことでした。例えば、「洗面台は、高さ奥行きがあって子供には使いにくい点。」「台所のIHのスイッチが側面にある為に、子供が押してしまうという点。」「レバーハンドルを低い位置にしたことで、子供の手が容易に届いてしまい、目を離せないという点。」「外部にも問題があり、玄関までのアプローチに階段があるため、ベビーカーの利用が不便である点。」「リビング階段を採用しなかった為に、子供が大きくなった時、顔を見ることがなく部屋と外を行き来してしまうのではないかと不安がある点。」他にも、不勉強な部分があったり、ファッション性重視で実用性に欠ける部分があるとのことでした。

最後に、家づくりの反省点とアドバイスとして、自分たちの建てたい家をじっくり考え、しっかり勉強し、多くの視点を持って設計に取り組み、長いスパンで家づくりをするべきだと述べられました。

全体を通して、具体的なお話を交えて、正直な思いを語って下さったことで、とても分かりやすく、これから家を建てようとする方々にとって、大いに参考になるお話だったと思います。

続いて『ワークショップ』の始まりです。



まず初めに、100%県産材を使用した、木の家に住まわれているお二方より、ご自身の家についてご紹介頂きました。



野田さんは、木の家に住んで4年目で、知人の家に行くと他とは違うものを感じ、その家を建てたところを紹介して頂いて依頼したそうです。素材は木と珪藻土を取り入れた家で、年々味が増してきて、喘息やアトピー対策として体にもよいとのことで、工務店に対しては、施主同士が仲良くなるくらいフレンドリーな

工務店で、台風の時に見回りに来てくれる等、建てた後のケアが良くて満足しているとのことでした。

続いて、財満さんも木の家に住んで4年目で、最初はRCか木で迷ったそうですが、RCは冷たいイメージがあって、木を選んだそうです。その結果、無垢の木の床は、味と温かみがあって、冬は底冷えしない点がいいとのこと、工務店さんに対しても、野田さんと同じく満足しているとのことでした。

その後、フリートークにうつり、参加者の方から、様々な質疑を頂き、野田さん、財満さんをはじめ、専門的なことは建築士会員等が応答する形でワークショップが進められました。

質疑の内容としては、「木の家のお手入れはどんな感じか?」「どのくらいの年月をかけて、いい色合いになってくるのか?」「木の家は、子供が傷をつけてしまいそうだが、木の家で良かったことはどんなことか?」「木の家でも、デザインを自由にできるのか?」

「工務店の内覧会はどうやって知ることができるのか?」「住宅街で気に入った家があったら、インターホンを押して色々と尋ねてもいいか?」等々、具体的な質疑があげられる中、「木の家の冷暖房効率はどうなのか?」

「リビング階段にすると、上下の温度差ができてしまうのではないか?」「木にとってはどんな工法がいいのか?」といった、専門的なことをあげられる方や、

「木はシロアリや地震に弱いイメージがあるが、対策はどうなっているか?」「木の家は価格が高いのではないか?」「火事の時、木の家は燃えやすいのではないか?」といった、誤解と言えることが、当たり前のように思われている現実を知ることができました。また、設計事務所に関する質疑として、「設計事務所の窓口は、どう開けているのか?」「設計士に相談するだけで、相談料を取られるのではないか?」「設計料はいくらくらいするのか?」等があげられ、中には、「女性建築士がいるとは知らなかった」との声もあり、設計事務所のあり方や建築士の存在が周知されていない現実を目の当たりにさせられました。

初めての試みとなったワークショップは、参加者・主催者共に、素朴な疑問や誤解の解消、様々な現実を知ることができ、いい勉強・参考になるものであったと思います。最後に高橋さんが、「家は自分たちの意見をしっかり言えて、満足して建てるべきです。家を建てる前にこの会があって、今日のお話を知っていたら、必ず県産材で木の家を建てていました。」と語って頂き、今回のセミナーの有意義さを感じることができました。

その後、盛大な拍手を頂き、阿南部長の『閉会の挨拶』

をもって、セミナーを終了しました。

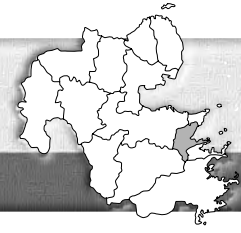
一般参加者の方々に書いて頂いたアンケートには、「具体的で参考になるお話を沢山聞いて良かった。」「家づくりに関して、知らないことが沢山あることが分かり勉強になった。」「家を建てた方のお話を聞いて面白かった。」「同じ悩みを持って、家づくりを考えているんだなあと思った。」「家づくりの最初の一步の取っ掛かりができたように思う。」「女性建築士の方が主体ということで、話しやすかった。」「設計士さんに、家は一生の宝だと言って頂き、いい家に住んで欲しいという思いが伝わった。」「地元大分県を大切に思い、生かしていこうとされている県職員の方、大工さんや設計士さんがいることが分かり嬉しく思った。」「ワークショップ形式で参加しやすく、近い距離で直に色々なお話を聞いて良かった。」などの感想を頂きました。

今後取り上げて欲しいテーマ・セミナーについては、「構造について知りたい」「見学会をして欲しい」という意見が多く書かれており、見学会に関しては、新築はもちろん、「何年か住まわれた家を見てみたい」という意見もありました。他にも、「今後必要とされる、省エネや冷暖房器具について」や「これから家づくりをする方に」というテーマで、家づくりの基本となることを説明して欲しい」など、今後の住宅セミナーへの期待の声を頂く事が出来ました。

今回の住宅セミナーの参加者は35名でした。

講師・発表者のお三方、参加された皆様、県担当者様、開催に御協力頂いた建築士会青年部の皆様、女性部の皆さん、大変お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。





大手門周辺百年計画

臼杵支部 赤嶺 竜一

臼杵のシンボルである臼杵城址の袂、江戸時代の大手門周辺地域が街路事業に伴う立ち退きなどの影響で空地が目立つ状況となっている。空地は公共用地や民間所有地が入り乱れ、このまま放置すればまとまりの無い開発が行われる危惧がある。同時に、中心部エリアにおいてまちづくりの核を作るチャンスと捕らえている。

地域に根ざす建築士として、将来ビジョンを描き、その姿を市民や行政にビジュアルに示すことにより、まちづくりの方向を示し、大手門周辺地区の将来ビジョン策定とそれに基づく立体模型作成を、建築士会臼杵支部うすき南蛮文化学習会「コントソング」を中心に市会有志の参加にて日夜50年後・100年後のビジュアル模型作成中である。



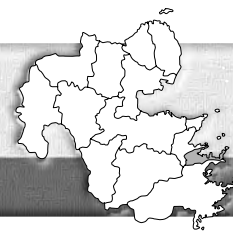
ビジョン検討会



模型作成状況



模型作成状況



～ 地域貢献活動 ～

津久見支部 大村 正壽

「津久見ふるさと振興祭」10月25・26日開催

津久見支部行事の一つになって26年目を迎えたお祭り行事です。夏の花火大会に続くイベントで、町おこしでもあります。9月中旬深夜作業のスタートとなり1ヶ月間の奮闘が続ききました。今回の出し物は椅子とガーデニング用品の木工品とキッズ工房・ホーバー体験を準備し汗を流しました。木工品は評判も良く、リピーター客が早々に来店する状態で、初日でほぼ完売となり、2日目は農家から頂いた野菜を店先に展示する状況になりました。（祭りを盛り上げるためならがんばるで～）他に、釣りバカ日誌映画チケットとトリニータ応援チケットも取り扱っております。

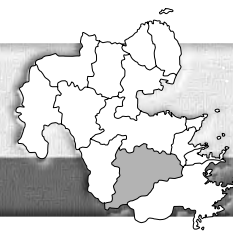


（会員も児童と一緒に万能台作りに挑戦）

キッズ工房も順調よく、万能台作りで子供たちも楽しそうにトンカントンカンと釘打ち作業していました。昨年より多く準備したのですが、これも途中で終了。始めた頃は小学生が訪れていましたが、近頃は園児が多くみえています。電動工具の作業となると小学生が興味を抱き集まる傾向です。



そして、ホーバーも祭りに定着しつつあります。どうか天候にも恵まれエンジンもフル回転！（エンジンとは、ロープ操作の人動力の事である）ホーバーに乗っている児童の笑顔に疲れも半減します。・・・が、体力の衰えを感じますね～。（支部平均年齢50歳越えました）最近公園の遊具も安全性を重視しているせいか、ホーバーみたいな乗り物（遊具）がなくなり、祭りでのひと時が珍しい時代なのでしょうかね～。また来年も頑張ります。（ご来店お待ちしております）



第4回豊後大野市 ふるさと振興祭に参加して

三重支部 岡部 達己

11月23日、三重町の道の駅「みえ」で開催された第4回豊後大野市ふるさと振興祭に参加しました。この不況下、建築士と建築士会の存在をアピールすることが第一の目的ですが、防災、耐震診断の重要性を認識していただくための広報もあわせて行いました。



会場では主催者が用意したテントの一張りを借り、会員の住宅作品、模型、地震災害の写真、木造住宅の耐震診断のパフレットなどを展示しました。

また、子どもたち用にメジロンの下絵を描いた板に塗り絵をするツールペイント、折紙建築、珪藻土を使う塗り壁体験コーナーを設けました。ツールペイントは年配の方にも好評で、用意した板は、瞬く間になくなりました。



つぎは、建築士会お得意の折紙建築です。

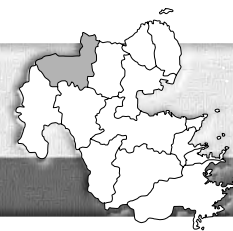
今回はA3の用紙に拡大して挑戦しました。題材が、ちいさな子どもには難しすぎたのがちょっとした反省点。

塗り壁コーナーでは、最初は、勝手がわからず苦戦していた子どもたちも最後は、楽しそうに体験していました。



当日は天気にも恵まれ盛況のうちに終わることが出来ました。

今後もこのような機会があれば、積極的に参加して建築士・建築士会の存在をアピールしていくことが肝要だと、改めて思いました。



日向市駅と美々津町の 町並み見学

中津支部 山村 増治

平成20年11月22日

中津まちなみ会では、街並み景観の先進地「宮崎県日向市美々津」に視察に行きました。

参加者14名、マイクロバスに乗って約4時間かけて現地に着きました。

最初の見学地は、日向駅。内藤廣建築設計事務所による設計のこの駅舎は、鉄道デザイン国際コンペでブルネル賞を受賞し、多くの建築雑誌でも紹介されています。地場産杉をふんだんに使った新しい建築的造形やしくみ、技術への挑戦など、今まで見たことのない斬新な駅舎でした。



日向市駅前で記念撮影



昼食後、美々津の町に到着し、江戸時代からの商家が連なる町並みを見学、散策しました。

当時の建物を保存しつつ景観整備された町並みは、みごとであり、江戸時代にタイムスリップしたような気持ちになりました。



歴史資料館では、ガイドさんの説明を聞きながら建物内部も見学できました。ありがとうございました。



今回の視察は、まちなみ会の今後の活動に、大いに参考になりそうです。

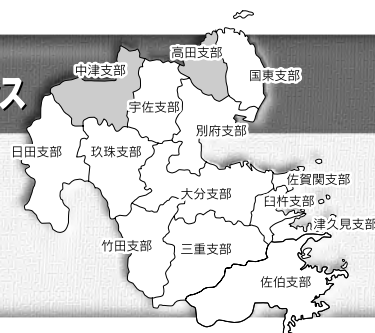
一通り見学した後、帰途に着き、中津に着いたのは夜7時半ごろでした。皆さんお疲れ様でした。

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和43年2月15日
- ★趣味 スポーツ全般
- ★勤務先 大分県立工科短期大学校
建築システム系

コメント： 現在、中津市にあります
県立工科短期大学校で構造および施工関係の教育・訓練を行っています。

工科短大に来る以前は建材メーカーに勤めており、人に教えたり説明したりすることはほとんどなく、ただ黙々と業務をこなし、人との会話もどちらかというと苦手でしたが、工科短大に勤務するようになって10年目を迎え、今ではそれほど抵抗なく人前で話せるようになりました。環境とは恐ろしいものだと、自分でも驚いています。今は構造関係の科目を主に担当していますが、苦手とする学生が多く、日々悪戦苦闘しながら指導をしています。

これからも地域で活躍する人材の育成、地域への貢献を目指して努力していきたいと思います。よろしくお願ひします。



吉田 和彦 (中津支部)

- ★生年月日 昭和53年3月25日
- ★通勤先 (有)三明工務店
- ★趣味 旅行などで知らない風景を見る事

(有)三明工務店の三明です。

物心がついた時から建築は身近なことでした。初めて建築学を学んだ時は楽しかったですね。

人の生活に空間は絶対に必要なものであり、その空間を作り出すのが建築です。空間は用途によって色々な顔を持ちます。また、人の命や財産を守るものでもあります。だからこそ専門的な知識や技術が必要になります。

まだまだ未熟ですがこれからも多くを学んで貢献できるように頑張っていきたいと思っています。



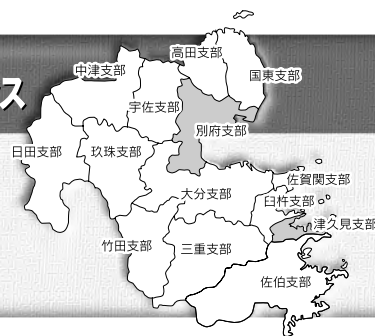
三明 保則 (高田支部)

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和55年10月21日
- ★勤務先 別府市役所
- ★趣味 (好きなこと) : 旅行、食べ歩き

この度、建築士会別府支部に入会いたしました、須藤です。

宜しくお願ひ致します。

別府出身ですが、市役所に入って、別府の知らない部分がたくさんあり驚かされてばかりです。

お店などはもちろんのこと、多種多様なイベントや、地域ごとの町おこし的なことなど・・・

いろいろ体験して、別府&大分をもっと知りたいと思います。

素敵な情報があつたらぜひ教えてください。

これから宜しくお願ひします。

(写真の前列左です。背景はコロッセオです。)



須藤 裕未 (別府支部)

- ★生年月日 昭和48年10月3日
- ★勤務先 有限会社 野崎建築
- ★趣味 映画鑑賞

★ 将来の夢、モットー等

幼い頃からいつも“トンカン”という音が聞こえていました。現場に行つては父のすることを真似て、小学校の頃かなあ、釘を口にくわえる姿がかっこ良く思えたのでしよう、真似をして飲み込んでしまい大騒ぎになったこともありました。まさか自分が建築士になるとは思いませんでしたが、家が、現場が大好きなんです。今では毎日父と喧嘩しながら楽しく仕事をしています。建築士になってまだ4年と経験も少ないですが、女性の目線で健康で過ごしやすい、元気になる家を設計していきたいと思っています。子育てと両立して頑張ります！



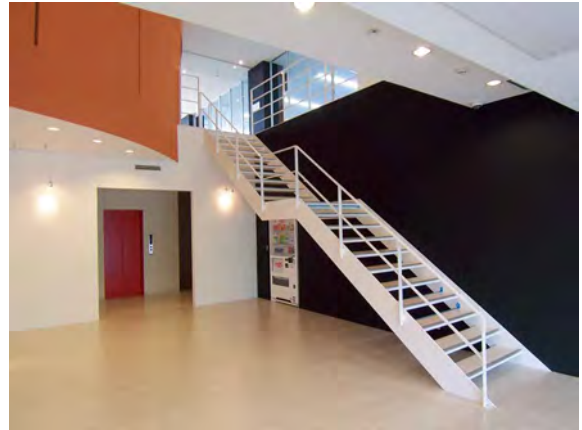
松田 恭子 (津久見支部)

MY WORK

- ★建物名称 株式会社 リリー 新社屋
- ★建築場所 別府市大字南立石字下コガ434-5
- ★設計者 ETO空間アトリエ一級建築士事務所
- ★施工者 株式会社 溝口組
- ★構造・規模 鉄骨造・4階建て 3,013.18㎡
- ★設計主旨

この建物は総合美容商社の新社屋である。クライアントからの指名コンペにより選ばれ設計監理が始まり、希望条件を全て満たし、かつモダンな外観を創出する事に終始し、限られた予算をクリアするようシンプルな箱の中に機能をつめ込み、無用なデザインは全て削ぎ落とした。建物中央部に吹き抜けの階段室を作る事により、空間に広がりとながりを持たせた。

結果的には機能とデザインがバランスよく融合され、そのままの形として表れている。



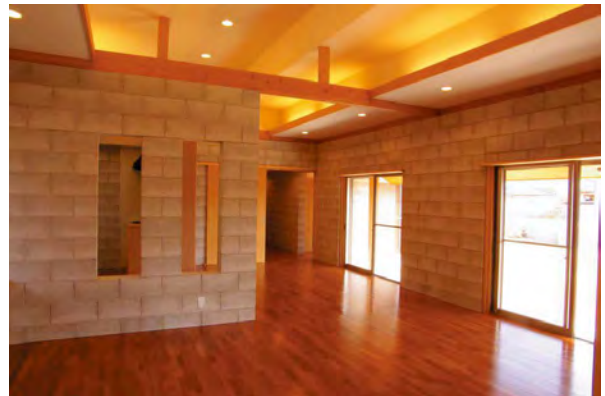
MY WORK

メーソンリー建築

- ☆建物名称 関屋邸
- ☆建築場所 臼杵市
- ☆設計 板井登喜雄
- ☆施工 現代建設(株)
- ☆ユニット製造施工 (有)みえのブロック
- ☆現場監理 板井祐輔
- ☆設計趣旨

今回、型枠ブロック造の住宅を施工しました。通常のRCではベニヤ・木材など、施工後多くの資材が廃棄されますが、この工法では高強度のブロックがシエルとして型枠の代わりになります。その中に配筋・コンクリート打設をする事で一体となった壁構造に仕上がりに、組積造の施工性とRC造の強度を併せ持った建築物となります。

また、ブロック部分によりコンクリートが中性化から保護されることや、ブロック自体をデザインに活かせることなど、特筆すべき点は多くあります。今回のプロジェクトではコンパクトでシンプルな計画と多くの工夫を試み、「便利さと物に溢れた住まい」を考え直す時期に来ていることに改めて気付かされた物件でした。

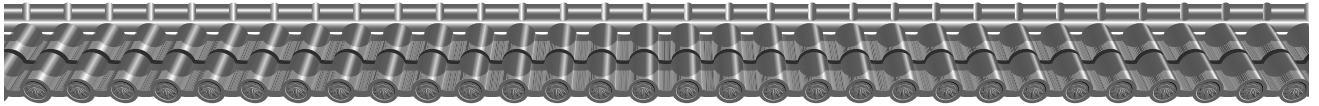


- ☆建物名称 大山ダムインフォメーションセンター
- ☆所在地 日田市大山町西大山1996-3
- ☆建築主 独立行政法人
水資源機構大山ダム建設所
- ☆設計者 澁谷 博昭
(有)仁田野建築設計事務所
- ☆施工者 (株)中野組
- ☆構造規模 木造平屋建 259.15㎡
- ☆会館時間 9:30~16:30
- ☆休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)
- ☆問い合わせ 年末年始(12月29日~1月3日)
0973-52-3282

平成24年度竣工予定の大山ダム。そのインフォメーションセンターがオープンしました。この建物はダム建設工事の際に生じた間伐材を有効利用し建築しています。半丸太組で味のある外壁、開かれたオープンテラス、室内をどこまでも明るくと設置した天窓、通りがかった人が気軽に立ち寄れるような、そんな優しい空間を提案しました。

館内ではパネルやDVD上映による事業概要説明を行っています。また、展望スペースからダム建設工事の様子を望む事ができます。この機会にダム工事見学はいかがでしょうか。





シリーズ 登録文化財 No.25

石橋の町 院内町

宇佐支部

宇佐市院内町では石橋が75基も遺されていて、そのうちアーチ型の石橋は64基である。いずれも現在歩道や車道として利用されているから、遺されているという表現は間違っているかもしれない。

同市では夜間スポットライトをあてるなど観光の名所としても力を入れている。

なぜ、このまちに石橋が多いか、には次のような要因が挙げられる。

- ① 院内町の地形は深い溪谷を形成しており、その流れが急なことから頑丈で流されない橋を必要としたこと。
- ② 棚田や石垣を組む（石工）技術力が高かったこと。
- ③ 石材が豊富で安価なこと。

～荒瀬橋～



所在地・・・院内町副

形式・・・石造2連アーチ橋

橋長・・・47.4m

橋幅・・・5.95m

橋高・・・18.3m

竣工・・・1913年（大正2年）

水面からの高さが町内でもっとも高い橋である。道の駅いんないから徒歩で見学が可能。

～鳥居橋～



所在地・・・院内町香下

形式・・・石造5連アーチ橋

橋長・・・55.15m

橋幅・・・4.35m

橋高・・・11.0m

竣工・・・1916年（大正5年）

橋脚が細長くすらりとしているところから「石橋の貴婦人」と呼ばれている。5連のアーチはそれぞれ地盤や水流に応じてスパンや高さは異なっているが散漫な印象はなく、かえって心地よいリズムを生み出している。

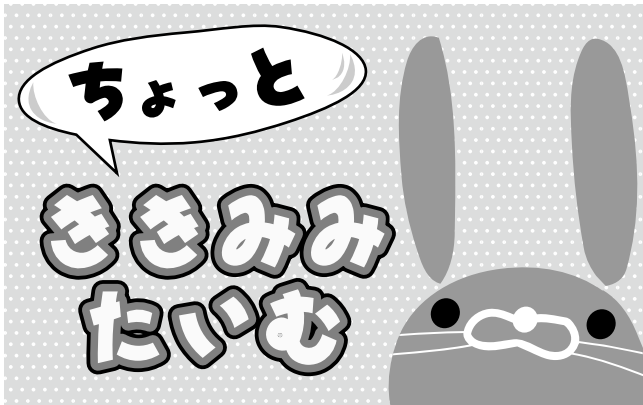
アーチ石橋の歴史を紐といてみると、紀元前4000年メソポタミア文化より見られる。鉄の量産により可能となった鋼橋、鉄筋コンクリート造の橋が出現する20世紀まで橋の主流は石橋であった。

日本では、江戸時代初期、中国より石造アーチ橋の技術が伝えられ全国に伝播したといわれている。

現在の環境問題・財政問題・資源問題等を考えると、石橋も見直される時代ではなかろうか。

[参考文献]

宇佐市観光パンフレット他



作家、佐伯泰英さんの時代小説「密命」の舞台が佐伯藩とされていることから、佐伯市ではこの人気小説にあやかっただ町の観光PRに乗り出しているようです。侍や遊女の看板を設置したりしています。

小説は、「豊後相良藩」には6万冊の蔵書があるが、この中に、御禁書の切支丹本があると、幕府から嫌疑をかけられる。藩は存亡の危機を迎え、密命を帯びた直心影流の達人、金杉惣三郎がことの真相に迫るという内容です。福岡あたりから観光ツアー等でお客さんが訪れている様です。

<K・N>

12月3日、待望の第2子を出産致しました。体重2,686gの女の子です。母子共に元気に出産を終えられてホッとしています。

今回は出産の報告までで、出産育児談など、次号をお楽しみに☆^ ^☆

<四つ葉>

ここ最近、長がつく仕事（役割）がやたらと多い！
改めて、長が付く事の意味を考える今日この頃、色々努力されている方もいれば単なる肩書きな人もいます。その位ならまだまだで、犯罪や失言など、どうしてそーなるのかと思う方もいます。自分はどうかろう？中々回答の出ない毎日です。でも、一つははっきりしているのは厄年がすぐそこって事だけ…
Oh!~~KUWABARA-KUWABARA。

先日、福岡市柳川で知人の披露宴があり、有名なお披露目の川下りにもちゃっかり同乗してきました。

初めての体験で寒さや川の匂いが心配でしたが、ゆるやかな川の流れの中さわやかな風が吹き、思いがけず穏やかなひと時を過ごせました。

川辺も昔の面影を残しつつきれいに整備され、街の人々の水辺に対する思いを感じ入るばかりでした。通りの方々からの祝福の声を受けながら、継承し育んできたものと新しいものとの調和の大切さを感じることの出来たひと時でした。

最近、家族から「お父さんのお腹出てきたな」と言われ始めました。

自分でも、気になっていましたが、まあ貴禄ができて良いかと思いいにしています。

ところが先日、会社の健康診断があり診断結果のお知らせが郵送で送られてきました。

内容は、脂質以外は異常ありませんでしたが、なんと、総コレステロールとLDLコレステロールの数値が範囲外で脂質異常症が疑われます、生活習慣に注意して下さい、観察が必要ですよとのこと。

異常値の時、疑われる病気は、虚血性心疾患、動脈硬化、高脂血症だそうです。

自分では注意してきたつもりですが、いままで以上に食事に注意し、適度の運動をして、自己健康管理に注意したいと思います。

ちなみに、いつまで続くかわかりませんが、まずジョギングを始めました。

<K・S>

このたび編集委員として皆様のお手伝いをさせていただくことになりました。

最初あまりは気が進まなかったのですが先日、編集委員会議にも参加させていただきまして、各支部の方々とお会いすることができました。いままであまり気にしたことはなかったのですが、会議での何気ない会話の端々に建築士おあいたのつながりを感じたような気がします。これからは建築士おあいたを愛読させてもらいながら、いろんな人との出会いを楽しみにしています。

<リキ>

おおいだ建物発掘隊

佐伯市編

古民家ギャラリーはらだ

佐伯支部 長田孝治

この建物は江戸時代末期の天保七年（1835年）に建築された、173年の歴史のあるものです。

この家の初代「理三郎」は当時ソヤノの木で栽培していた椎茸をクヌギの木での栽培に成功し、藩に貢献した褒美として、毛利藩主から当時としては、庄屋の家にしかな許されなかった、「一段高い敷居」「高い天井」「隠し二階」などが作られています。



現在は地域の人々の作品を展示するギャラリーとして家主のご夫婦が暖かく迎えてくれます。取材に行った日は、パッチワークの作品を展示していました。皆様も佐伯市にお越しの際は、ぜひお立寄り下さい。



可動式室内の物干しかけ？



縁側



パッチワーク

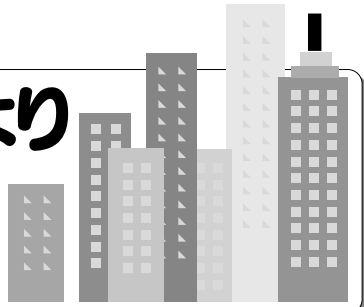


蔵



パッチワーク

行政だより



2. 地区計画整備区域

地区 区 整 備 計 画	名 称	城下町地区地区計画	
	位 置	杵築市天満区、仲町区、谷町区、南台東区、中央区の一部、札ノ辻区の一部、西新町区の一部、西上区の一部、北台区の一部、古野区の一部、弓町区の一部、南台西区の一部及び杉山区の一部	
	地区整備計画の面積	約36.5ha	
	建 築 物 等 に 関 す る 事 項	建築物の用途の制限	次に掲げる建築物は、建築することができない。 (1)キャバレー及びナイトクラブ (2)個室付浴場に係る公衆浴場 (3)ストリップ劇場等 (4)上記に類する建築物
		壁面の位置の制限	地区計画区域内の都市計画道路宗近魚町線に面する建築物等は、道路との境界線から90センチメートル以上壁面を後退する。
		建築物等の高さの最高限度	地区計画区域内の建築物等は、地下を除く階数を二以下とし、かつ、その高さは十メートル以下とする。 ただし、公共建築物で、杵築市城下町地区地区計画における建築物等の制限及びまちづくりに関する条例第十二条に規定する建築審査会の承認を受けたものはこの限りではない。
建築物等の形態、又は意匠の制限	地区計画区域内の建築物の形態及び意匠は次の各号に掲げるものとする。 (1)杵築城下町の伝統をできるだけ継承するため、切妻、入母屋、寄棟(角地は片入母屋)、軒庇、袖壁、塗込窓等の保存再生に努める。 (2)区域内にある建築物等は、木造、又は同様の木調仕上げとし、屋根は概ね2分の1勾配を持つ和瓦屋根(色は黒、又は灰色)とする。 (3)城下町にふさわしい落ち着いた色調とし、黒、白、灰、及び茶系統を基調とする。		
備 考	その他、この計画の運用に関し必要な事項は、別に定める。		

「区域及び壁面の位置の制限は計画図表示のとおり」



凡 例	
地区計画区域境界	※
字全域の地区計画区域に入る字名	●
字の一部の地区計画区域に入る字名	○



事務局だより

【行事報告】

■九州ブロック「建築士の集い沖縄大会」

日時 平成20年6月28日

場所 名護市民会館

出席 24名

テーマ 「やんばるの地で考えるこれからの
建築の在り方」～本当に大切なもの
とは何か～

■第1回女性建築士住宅セミナー

日時 平成20年9月20日

場所 大分文化会館 第1小ホール

出席 30名

内容 ・講演会「木の家づくりと子育て」
講師／高橋陽子氏〔元地元民放キャスター〕
・ワークショップ
・住宅相談会

■建築士等を対象とした超長期住宅関連講習会

日時 平成20年10月9日

場所 大分県消費生活・男女共同参画プラザ
アイネス

内容 ①超長期住宅に関する最近の動向・法制度
概要当・今後の展開等に関すること
講師／石井鏡成氏〔有石井建築研究所〕
②改正建築士法の概要
講師／荒巻孝徳氏〔大分県建築住宅課〕

■第51回建築士全国大会

日時 平成20年10月25日

場所 徳島県徳島市

参加 24名

■もく・もく塾

日時 平成20年10月31日

場所 大分センチュリーホテル

内容 ・講演会「自然を生かした快適な住まい」
講師／渡邊俊行氏〔九州大学大学院教授〕
・シンポジウム「大分のエコ建築を語る」

【会議報告】

■三役会

日時 平成20年8月22日

場所 事務局

出席 9名

議題 1) 一級建築士登録・閲覧業務について
2) 定期講習の実施について
3) 建築士等を対象とした超長期住宅関連講習会について

■昇降機特別委員会

日時 平成20年8月22日

場所 事務局

出席 8名

議題 昇格機等の事故について

■第2階青年部長・副部長会議

日時 平成20年8月23日

場所 大分文化会館 第2会議室

出席 18名

議題 1) 建築士の集い沖縄大会 in やんばる参加報告
2) 第51回建築士会全国大会「とくしま大会」について
3) 支部活動状況報告について
4) 第1回女性建築士住宅セミナーについて
5) ウィンターセミナーの進捗状況について(サマーセミナー)

■編集作業

日時 平成20年8月27日

場所 事務局

出席 10名

■CPD・専攻建築士制度特別委員会

日時 平成20年9月4日

場所 事務局

出席 5名

議題 CPD登録変更にかかわる手続き等について

■昇降機特別委員会

日時 平成20年9月16日

場所 事務局

出席 8名

- 議題 1) 全国定期報告・検査報告団体連絡会議について
2) 役員を選任について

■昇降機特別委員会

- 日時 平成20年10月7日
場所 事務局
出席 8名
議題 定期調査・検査報告団体連絡会議の報告

■三役会

- 日時 平成20年10月14日
場所 事務局
出席 9名
議題 平成20年度支部長・理事会ほか10月11月開催講習会等について

■三役会

- 日時 平成20年11月12日
場所 事務局
出席 10名
議題 平成20年度支部長・理事合同協議会について

■支部長・理事合同協議会

- 日時 平成20年11月21日
場所 大分リーガルホテル
出席 45名
議題 1) 委員会報告
2) 青年部会活動状況の報告
3) 女性部会活動状況の報告
4) 中間決算報告

【建築士会連合会関係】

■第443回定例理事会・士会長合同会議

- 日時 平成20年10月24日
場所 東京都
出席 芳山会長
議題 1) 第51回建築士全国大会（とくしま大会）について
2) 「専攻建築士制度規則」及び「専攻建築士審査、認定・登録基準」の一部改正について
3) 後援名義使用許可について

■一級建築士登録事務所研修会

- 日時 平成20年10月31日
場所 東京都
出席 事務局職員
議題 1) 「建築行政共用データベース」での一級建築士の検索について
2) 一級建築士の登録申請の事務処理等について
3) 一級建築士登録事務についで事務委託経費等について
4) 二級・木造建築士の「指定登録機関」の申請手続きについて

【建築士試験関係】

■二級建築士設計製図試験

- 試験日 平成20年9月14日
会場 日本文理大学
実受験者数 102名
監理員 8名、補助員2名

■一級・木造建築士設計製図試験

- 試験日 平成20年10月12日
会場 日本文理大学
実受験者数 55名
監理員 7名、補助員2名

【九州ブロック会関係】

■青年建築士協議会・女性建築士協議会運営委員会

- 日時 平成20年10月4日
場所 長崎市
出席 岐部青年部会長、阿南女性部会長、江上青年部幹事、中道女性副部会長
議題 1) パッションin長崎大会の進捗状況について
2) 「建築士の集い」鹿児島大会進捗状況について
3) パッションin長崎大会の進捗状況について
4) 開催地ローテーション組み替えの件について



広報委員

担当副会長	〈白杵〉	三重野	元良
委員長	〈大分〉	宮崎	隆博
副委員長	〈大分〉	中園	幸治
委員	〈大分〉	亀谷	芳久
	〈大分〉	都瑠	淳一
	〈国東〉	上野	貢一
	〈別府〉	河村	靖
	〈白杵〉	板井	登喜雄
	〈三重〉	岡部	達巳
	〈玖珠〉	須賀	文広
	〈日田〉	日高	淳一
	〈中津〉	中尾	忠廣

編集委員

委員長	〈高田〉	後藤	憲二
副委員長	〈大分〉	岐部	和一
	〈宇佐〉	渡辺	賢一
	〈白杵〉	赤嶺	竜一
委員	〈国東〉	野田	忠博
	〈別府〉	工藤	圭介
	〈大分〉	伊東	幸子
	〈大分〉	川野	祥弘
	〈大分〉	太田	将弘
	〈大分〉	高山	鮎美
	〈佐賀関〉	川口	尚文
	〈津久見〉	大村	正壽
	〈佐伯〉	寺前	嘉二
	〈佐伯〉	中田	智佐美
	〈三重〉	後藤	康仁
	〈竹田〉	志賀	勝吉
	〈玖珠〉	白地	泰憲
	〈日田〉	櫻木	弘三郎
	〈中津〉	山村	増治

建築士大分 2009.1 No.104

(非売品)

平成21年1月14日 印刷
平成21年1月15日 発行

編集／発行所

社団法人 大分県建築士会

〒870-0022

大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

士 業 豊

式 会 会

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高 田	879-0605	豊後高田市御玉199	0978-24-0418
国 東	873-0503	国東市国東町安国寺718	0978-72-2887
別 府	874-0845	別府市大字鶴見字角田3220-3 別府建築士事務所会館	0977-67-4488
本部・大分	870-0022	大分市大手町2-2-7 田原ビル2F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市大字佐賀関3068 高島建設㈱内	097-575-0116
臼 杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2445	津久見市井無田町3-9 津久見建設㈱内	0972-82-5291
佐 伯	876-0813	佐伯市長島町1-3-11	0972-23-6099
三 重	879-7131	豊後大野市三重町市場2区	0974-22-6606
竹 田	878-0026	竹田市大字飛田川1618-6	0974-62-3711
玖 珠	879-4412	玖珠郡玖珠町大字山田291-2 サンホーム(有)内	0973-72-0023
日 田	877-0025	日田市田島1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内	0973-24-6022
中 津	871-0024	中津市中央町1-5-24 中津建築会館	0979-24-3597
宇 佐	879-0454	宇佐市大字法鏡寺290-1 服部第3ビル102号	0978-33-3395
本 部	http://www.oita-shikai.or.jp/		
高 田 支 部	http://www2.ocn.ne.jp/~o-takada/		
国 東 支 部	http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/		
別 府 支 部	http://www.beppu-yukemuri.com		
大 分 支 部	http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/		
佐 賀 関 支 部	http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/		
臼 杵 支 部	http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/syoukai.htm		
津 久 見 支 部	http://www.bungo.or.jp/t-shikai/		
佐 伯 支 部	http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/		
三 重 支 部	http://www16.plala.or.jp/sok-mie/		
竹 田 支 部	http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm		
玖 珠 支 部	http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/		
日 田 支 部	http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm		
中 津 支 部	http://kentikusi-nakatu.net/		
宇 佐 支 部	http://www.d-b.ne.jp/usasikai/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～
目標3,000人突破



社団法人 大分県建築士会

2009年10月